

“ちいさな企業” 成長本部（岩手県遠野市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成25年11月13日（水）18：00～20：00
- ・ 場所：岩手県遠野市（あえりあ遠野）
- ・ 「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主なご意見は以下のとおり。

<中小企業・小規模事業者>

- 産学官金の情報が集約されているポータルサイトがあるとありがたい。業種や活動地域等を登録することで、より使いやすくなると思う。
- 風評被害で観光が落ち込んでいる。箱物だけでは集客が難しくなっているため、人の生業を観光にしていくことを考えている。
- 沿岸地域の商品を内陸の道の駅で扱ってもらおうと、商談会を開催するなど活動している。道の駅は本来、地場の商品を紹介する所であるため、道の駅同士でネットワーク化ができていないのが問題。
- 原材料や燃料の値上げで、それを価格転嫁してよいものか、悩んでいる。
- 海外展開については、ブラジルに特化しており、自分の得意分野に絞って力を入れている。今後は海外からの研修生を受け入れるなどして、海外との繋がりを模索していきたい。
- 商工会や金融機関との交流で、日々施策の情報を得て活用している。施策はたくさんあるが、使う側のセンスが鍵だと思っている。
- マインドが冷え込んでいると、あるはずの可能性も消えてしまう。マインドを引き出すには、他産業から人を引き抜き、古い慣習を取り払う必要がある。

- 男女共同参画、ワークライフバランス、ポジティブアクション等の啓発活動をもっと活発に行ってほしい。地元こだわって会社を存続させるためには、人材確保、特に女性の雇用が重要。まだまだ男女の役割分担の意識が根強いいため、女性が働き続けることができるよう、マインド等のソフト面の整備が重要。

<支援機関等>

- 成長分野への参入として、産学官金との連携により、自動車産業等への参入や取引拡大を支援している。また、6次産業化ファンドも設立した。
- いわて産学連携推進協議会を設立し、マッチングや事業化について助成を行っている。また、いわて未来づくり機構の事務局として、地域のリーダーとなる人材の育成を支援している。
- 認定支援機関として経営改善計画の策定支援をしているが、金融機関単独では実施に限界がある。他と連携していきたい。
- 県内の事業所の再開率は73%と、足踏み状態で、まちづくりへの動きが進んでいない。長期にわたって復興に取り組むことが必要。
- 大学と中小企業のミスマッチが課題になっている。中小企業が将来の幹部候補になるような採用を考えていても、その考えが大学側に伝わっておらず、学生を十分に集めることができていない。
- バイパス沿いに大型店の出店が相次ぎ、中心市街地の空洞化が止まらない。立地の支援策や誘導策が必要。



以上